

長門市立俵山小学校の児童が森からの恵みを使った クリスマスリースを作りました！

令和6年12月3日(火)、女性林業研究グループ「俵山どんぐり」が、俵山小学校の1～2年生7名を対象にクリスマスリース作りを実施しました。

これは、ツルや木の実等の「森の恵み」を使った作品づくりを行うことで、児童に森林への関心や親しみをもってもらおうと、毎年この時期に実施しています。

児童たちは、土台となるツルに、木の実や葉、リボンなどを飾り付け、それぞれ個性豊かなクリスマスリースを完成させました。

今回使用した木の実や葉は、全て県内で採取されたもので、児童たちは、自分が使用した木の実の樹種は何だろうと、資料で樹種を調べながらクリスマスリースを作っていました。

この取組を通じて、児童が森林を身近に感じてくれることを期待しています。



リースを作成中



素敵なクリスマスリースが完成！